



東村山市子ども読書活動推進計画

(平成17年度～21年度)

進捗状況報告①『きょういく東村山』より

身近な場所で本に出会えるために



東村山市では、平成17年3月、『東村山市子ども読書活動推進計画』を策定しました。市立図書館が中心となって、様々な取り組みを行っています。今回は、乳幼児への取り組みをご報告します。

ご覧になりましたか？

「おひざのうえで」シリーズ

「赤ちゃんのころから絵本を読んであげた方がいいの？」

「赤ちゃんにはどんな絵本がいいの？」

そんな疑問にお答えするリーフレット「おひざのうえで」シリーズを市立図書館で発行し、主に乳幼児健診で配布しています。また、健診では、市の保健師が絵本の良さについて説明しています。

「おひざのうえで」シリーズは、絵本の楽しみ方・おすすめ絵本の紹介の二本立てで、それぞれ赤ちゃん向けと幼児向けがあります。コンパクトな手のひらサイズで、母子手帳に収まります。市立図書館の「おひざのうえで」コーナーにも設置してありますので、ぜひご覧ください。

「おすすめ絵本パック」を設置しています

「図書館まではなかなか足が向かない。」という方もいらっしゃると思います。東村山市では、いろいろな場所で絵本と出会う機会をもつことができるようにしています。

そこで、市立図書館で選定した乳幼児向けの絵本20冊を、青いケースにセットしました。乳幼児健診会場や子ども家庭支援センター、子育てひろば、おひさま広場に設置しています。おひさま広場などでお友達と遊んだ後、親子で絵本を楽しんでみてはいかがでしょうかでしょう。

今後は、市役所の子育て関連窓口にも設置する予定です。ちょっとした待ち時間にも、絵本を楽しむことができます。

東村山市は「子育て中にたくさん絵本と出会えるまち」をめざして、これからも努力を続けます。

『きょういく東村山』第47号より

平成18年3月20日号

編集・発行 東村山市教育委員会